

長岡中央総合病院 倫理委員会 オプトアウト書式

① 研究課題名	BRAF V600 変異切除不能大腸がんに対する ENCO±BINI+CET 療法の実臨床における有効性
② 対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者。	2020 年から 2024 年に当院で BEACON 治療と行った症例 小林由夏
③ 概要	2020 年 11 月から 2024 年 1 月に当院で BEACON 治療を行った症例を解析し、有効性と安全性と検討する。
④申請番号	
④ 研究の目的・意義	BEACON 治療の安全性を確認し、最適な対象を絞り込む。
⑤ 研究期間	2020 年 1 月から 2024 年 1 月
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	カルテに記載された内容の後方視的確認のみ
⑧利用または提供する情報の項目	年齢、性別、治療期間、前治療、合併症、一般的採血項目、生存期間、転機
⑨利用の範囲	2024 年癌治療学会に限る
⑩試料・情報の管理について責任を有する者・連絡先	長岡中央総合病院 腫瘍内科 小林由夏
⑪お問い合わせ先（照会先及び研究への利用を拒否する場合の連絡先）	長岡中央総合病院 腫瘍内科 小林由夏 内線 8029